

# カトリック六甲教会 教会報

2018

10

No.562

		教会暦	教会行事	
10 月	5	金	初金曜日ミサ 7:00 10:00 教会掃除 (担当: 東灘北2・芦屋)	
	6	土	高山右近講演会	
	7	日	年間第27主日	
	8	月	教会受付休み(体育の日のため)	
	12	金	教会掃除 (担当: 灘南・神戸西)	
	13	土	社会活動部炊き出し	
	14	日	年間第28主日	小教区評議会 12:00
	18	木	聖ルカ福音記者	
	19	金		教会掃除 (担当: 灘西・中央)
	20	土		典礼部会 10:00
	21	日	年間第29主日 世界宣教の日	教区国際協力の日 幼児を持つ親の集い 11:00 ふれあい広場 バザー委員会 11:30
	24	水		教区月修
	25	木		高山右近巡礼ツアー(~27日)
	27	土		教会学校 錬成会(~28日)
28	日	年間第30主日	教区典礼研修会 教会掃除 (担当: 日曜班) 施設管理部 11:30 祈りと音楽の集い 14:00	

## 世界宣教の日

世界にはまだキリストを知らない人がたくさんいます。日本でもわたしたちはキリストを知らない人たちに囲まれて生きています。キリストを伝えることである宣教は、神の子ども、キリストの弟子となったわたしたち皆に与えられている使命です。

「世界宣教の日」は、すべての人に宣教の心を引き起こさせること、世界の福音化のために、霊的物的援助をはじめ宣教者たちの交流を各国の教会間で推進することを目的とし

ています。この日の献金は、各国からローマ教皇庁に集められ、世界中の宣教地に援助金として送られます。日本の教会は、いまだに海外から多くの援助を受けていますが、経済的に恵まれない国々の宣教活動をさらに支援できるように成長していきたいものです。

		教会暦	教会行事
11 月	1	木 諸聖人	諸聖人ミサ 7:00 10:00
	2	金 死者の日	死者の日ミサ 7:00 10:00
	3	土	教区納骨者および死者祈念ミサ 11:00
	4	日 年間第31主日	秋の墓参
	9	金 ラテラン教会の献堂	教会掃除 (担当: 東灘北1)
	11	日 年間第32主日	ミサ 7:30 9:00 チャリティーバザー 10:00
	17	土	教会大掃除 9:00 地区役員会⑤ 大掃除後
	18	日 年間第33主日 貧しい人のための世界祈願日 聖書週間(~25日)	七・五・三祝福式 10時ミサ中 幼児を持つ親の集い 11:00
	19	月	三日月会 ミサと懇親会 14:00
	21	水	司祭評議会
	23	金	教会掃除 (担当: 灘北2・阪神) 神戸地区養成研修会 13:00
	25	日 王であるキリスト	クリスマスの飾りつけ 10時ミサ後
	28	水	教区月修
29	木	定期清掃	
30	金 聖アンデレ使徒		

～・～・～・～・～・～・～・～・～・～・～・～・～・～・～・～

## バザー (2018年11月11日:日曜日) 委員会議事録

日 時: 2018年9月2日(日) 11:30~12:00

出席者: 各地区役員、小教区評議会議長

社会活動部、中高生会、教会学校

### 1. 出店内容と出店担当地区 2018年11月11日(日) 10時~14時

担 当	出店内容	会 場
灘北1 北・三田	カレー	イグナチオホール
灘北2 阪神	食品販売 / 飲み物	イグナチオホール
灘南 神戸西	古着	信徒会館1F
灘西・中央	古着	信徒会館1F
東灘北1	蚤の市	2F 第1・第2会議室
東灘北2・芦屋	巻き寿司、おにぎり、お茶	イグナチオホール
東灘南	蚤の市	2F 第1・第2会議室

社会活動部	お任せ	2F 第3・第4会議室
中高生部	喫茶	イグナチオホール前ロビー
教会学校	お任せ	信徒会館 2F 図書館・主任司祭前
パウロ書店		聖堂風除室

## 2. 出店関連

- ・蚤の市：寄贈品持込 10/7(日)～11/4(日) 日時厳守  
保管場所 イグナチオホール舞台
- ・古着：寄贈品持込 11/2(金)～11/10(土) 日時厳守 (11日当日持込不可)  
保管場所 主任司祭判断
- ・古本販売は中止
- ・カレーは持帰り不可を徹底する(売切り 150食目安)
- ・提供する食べ物は、各種1サンプルをバザー後1週間保管する。(衛生管理上)
- ・事前に「食券なし」、「古着当日受付なし」を徹底する。
- ・古着コーナー(信徒会館1F)から教会学校出店場所(信徒会館2F図書館)への人の流れがスムーズになるように検討する。(昨年古着コーナーが混雑していたため)

※ 次回バザー委員会 10月21日(日) 11:30～

～・～・～・～・～・～・～・～・～・～・～・～・～・～・～・～

## 2018年度第4回地区役員会議事録

日 時：2018年9月2日 12:00

出席者：アルフレド主任司祭、小教区評議会議長、各地区役員

### 1. 納涼の夕べについて8月18日(土) 17時～ 報告 (納涼の夕べ企画チーム)

- ・組み立て式テント2台追加購入より、会場設営・撤収時間が短縮できた。特に全ての撤収が30分で完了した。
- ・近隣からは12家族が来られ、また若い親子の参加が昨年よりも多く最後の花火まで楽しんでもらえ盛況のうちに終了した。
- ・信徒の高齢化を考慮した負担軽減と実働部隊の若い世代へのバトンタッチが今後の課題。

### 2. 壮年会・婦人会主催バーベキュー大会について9月30日(日) 10時ミサ後(壮年会会長)

- ・雨天決行
- ・参加費300円(肉と飲み物) お代わり肉200円、追加飲み物100円  
飲み物は生ビールも用意する。菓子、カキ氷も予定。
- ・8:30 ドラム缶をセット、炭に着火
- ・信徒会館前にテント設営：9時よりテント、椅子等会場設営  
食事場所はテント内、藤棚の下、信徒会館ホール、イグナチオホール

### 3. 教会大掃除について 11月17日(土) 9:00～ (教会大掃除チーム)

- ・9時より大掃除開始、大掃除終了後地区役員会開催
- ・雨天の場合、室内の清掃を中心に実施する。清掃後の地区役員会にて予備日を決定し、予備日には雨天に清掃が出来なかった外構(駐車場の溝等)の清掃を行う。

※ 次回開催 バザー委員会：10月21日(日) 11:30～(地区役員は全員参加)  
地区役員会：11月17日(土) 教会大掃除終了後

## イエズス会 4 教会公式共通ロゴ決定

イエズス会運営の山口教会、祇園教会、六甲教会、麴町教会の4教会が集まり、10年後を見据え、イエズス会の教会として使命に答えていくための課題及びその方向性を約2年間にわたり協議し、2017年11月に今後10年間の使徒職の基本方針案を策定しました。

① イグナチオの霊性に基づく祈る共同体

イエズス会員が携わる教会にとって、聖イグナチオの霊性は「隅の親石」である。  
この霊性に基づき、日々の生活の中で、また共同体の中で祈りを深める。

② 協働できる交わりの共同体

イエズス会員が携わる教会は、小教区、近隣の教会、各教区において協働の輪を広げること努める。

③ 社会の中で福音を伝える共同体

イエズス会員が携わる教会は、教会の内に留まることなく、社会のあらゆる場で特に社会的に弱い立場にある人々との連携を心がけ、熱意を持って使徒的使命を果たす。

六甲教会では以降、ワーキンググループを作り、それぞれの項目を目的に行う具体的な行動を考えてきました。5月に行われた「大同窓会」もその一つです。

引き続き4教会で行ってきた情報交換の場としてのweb会議で基本方針案をもとに、4教会が相互に意識を高めるためのシンボルとしてロゴを作成。この度、決定されました。六甲教会では、使徒職の基本方針の活動にかかわる印刷物に使用する予定です。



十字架 → 4教会の協働を十字架で表現

H I S → 聖イグナチオの霊性を生かす教会

波 → 教会に留まることなく社会という広い海原で出て行く教会

<行事報告>

### 「典礼奉仕者の集い」(9月9日)に参加して

初めに典礼部から「典礼奉仕者の奉仕時間帯の変更」について提案説明があり、これまでの奉仕可能な時間帯から、教会共同体の活性化を目的とし全ての時間帯のミサを経験するという内容でした。

神父様からは「金持ちの青年」、「やもめの献金」のたとえ話をもとに差し出すことの意味につい

てのお話でした。「私たちの守りたいものは何か。」「どういうところで信仰を深めるか。」成長へのお導きでした。負担のない道を歩みがちな自分自身への問いかけとなりました。

これらのことをテーマに黙想、そしてグループに分かれての分かち合いとなり率直な意見の発表は世代の異なった人への理解を深める良い機会となり、最後に各グループの分かち合いの発表がありました。

与えられたご奉仕をお恵みとして頂き、御ミサの典礼に於いて神様にお捧げする心を大切に努めさせていただきますと思います。  
(市川)

《 お 知 ら せ 》 教会のみなさまに知って頂きたい活動やお知らせです

### ★社会活動部より★

10月 3日(水) 10時 手芸の集い(第1、第2会議室) どなたでも参加ご自由です。

10月 7日(月) 11時半 2018 第2回社会活動部連絡会(第4会議室)

10月13日(土) 10時 炊き出し(イグナチオホール 台所)

小野浜グラウンドにて、おじさん達のお話相手や配食だけでもOKです。

10月21日(日) 10時ミサ後 ふれあい広場(イグナチオホール)

10月22日(金) 9時半 ともしび会(イグナチオホール台所)

施設の子どもたちへのケーキ作り

### ★バザー委員会より★

恒例の「チャリティバザー」は、11/11(日) 10:00~14:00 に開催予定です。今年も皆さまからの絶大なご協力をお願いいたします!

#### ・「のみの市」

寄贈品の持込は、10/7(日)~11/4(日)です。聖堂入り口の段ボール箱にお入れください。寄贈品は、未使用・新品・賞味期限内のものに限ります。

#### ・「古着(リサイクル)」

持込みは、11/2(金)~10(土)です。  
信徒会館1Fロビーの奥へお持ちください。  
洗濯済みの新しいものをお願いします。

(注) バザー当日の持込みは受け付けません!

・今年も「各種飲食の模擬店」が出店します。古本市、食券販売はありません。

#### ・チャリティバザーの「主たる献金先」

東チモール聖イグナチオ学院・NPOこどもの里・カトリック社会活動神戸センター等を予定しています。



## 主たるバザー献金先のご紹介

### ① アジアの平和の礎に

東チモールの将来を支える子供たちの育成に「東チモール聖イグナチオ学院」の教育活動をイエズス会を通して支援しています。

### ② 大阪教区での絆によって

1900年代の後半に釜ヶ崎の子供たちへの支援から始まった活動は、いろいろな変遷を経て2015年「NPO こどもの里」として受け継がれています。

### ③ 神戸地区のつながりによって

神戸地区のカトリック教会は共同で社会活動を行っています。その活動の中心は神戸中央教会の社会活動センターです。「カトリック社会活動神戸センター」を支援します。

## 《 図書室からのお知らせ 》 本年これまでに図書室に入った本

昨年末、イエズス会六甲修道院より、シリーズ『現代聖書注解』全44冊のうち33冊の寄付を頂きました。不足分11冊の内、今年はレビ記・サムエル記上/下・ローマ人への手紙の4冊を購入し、37冊になりました。残りの7冊を19・20年の2年間で購入して揃えようと思います。

### ☆ 現代聖書注解 —— 全44冊 日本キリスト教団出版局

現代聖書学の成果を駆使して聖書各書の全体的構造を明らかにし、その流れの中からメッセージを捉えなおすとともに、それを現代の教会とキリスト者への問いかけとして提供する最新の注解シリーズ。現代英米を代表する聖書学者が、総力を結集して執筆。

以下の4冊は7月叙階の大阪教区補佐司教の一人 酒井俊弘司教の著書です。

### ☆ 聖性への招き ふつうのおばさん、おじさんも聖人に—あなたも聖人になれる

酒井俊弘著 教友社

オプスデイ(神のわざの意) 聖ホセマリア・エスクリーバー 属人区についての紹介と解説

### ☆ 雇われ羊飼いの言いたい放題 「神父さまのお説教、眠れません！」 酒井俊弘著 教友社

宝塚教会でのミサ説教等 クイズ・フラッシュカード・寸劇…も 他に要理の基礎について連続エッセイ

### ☆ 雇われ羊飼いの(ふたたび)言いたい放題 酒井俊弘著 教友社

平均27分 <グレゴリオ聖歌が響き、天使の風船が飛ぶ中、わかりやすく解説される正確な教え…>

### ☆ 雇われ羊飼いの(みたび)言いたい放題 酒井俊弘著 教友社

司祭銀祝を迎えて18のミサ説教(俳句付) 黙想会説教・講話 著者自作の俳句23句も解説付きで

他にも図書は増えましたが、その一部を紹介します。

☆ **ブレンダン・ラヴェット著作集**

ブレンダン・ラヴェット著 サン・パウロ

著者はアイルランド生まれのコロンバン会司祭。フィリピンで司牧。オーストラリアで教える  
(神学教育)

○ 死の前の生——希望を文化に根づかせること—— (希望のインカルチュレーション)

○ 天にあるように 地においても——フィリピンの状況で神に向かうこと——

☆ **神の指 ここにあり** — 聖イグナチオの生涯とイエズス会創立の物語

李 聖一著 ドンボスコ社

生いたち・パンプローナの戦い・回心・マンレサで修行・エルサレム巡礼・勉学への志・モン  
マルトルの誓い・ベネチアの再会・ローマにて・イエズス会創立・巡礼の終わり…

神の指の差し示すところへ イグナチオから学ぶこと イエズス会と日本

☆ **霊的日記** —— イグナチオの『日記』

ホアン カトレット著 教友社

『日記』は祈りのための本です。超越的なものとの交わり、自分を刷新するようにと働きかけ  
ます。

☆ **イエズス会の歴史**

ウィリアム・バンガード著 上智大学中世思想研修所監修

原書

房

近代世界に登場したイエズス会のたんなる修道会の枠を超えて世界史のなかで大きな役割を  
果たしてきた500年の歩みを跡づける名著

《お願い》 教会に図書を寄付・寄贈される方は、信者や教会図書室利用者に、その図書の推薦文  
や、教会図書室に相応しい旨のアピールを添えて事務所に申し出ください。

\*\*\*\*\*



## みんなの広場

### お庭だより 2018 年秋

心地よく深呼吸が出来る季節が巡ってきました。この夏は地球温暖化による異常気候が日本各地に  
被害をもたらしました。関西地方も豪雨から始まり地震、2度の台風の上陸、そして「命に関わる  
暑さ・・・」と注意を促すテレビに流れるテロップを目にする連日でした。

猛暑の中でも我が教会のお庭のお花たちは夏枯れすることなく生き生きと咲き続けてくれまし  
た。聖堂が防風雨壁の役目を果たし、昨年引き続き朝夕のお水まき、草抜きを担当していただい  
たおかげです。夏前から何組かの家族が藤棚の周辺の草抜き、お掃除やマリア様のミニ花壇のお手  
入れ一緒に出来て嬉しかったです。六甲教会を訪問  
くださる方々は真夏に元気に咲いている花壇をご  
覧ください感心して下さっていたそうです。

この夏のガーデンの主役はなんと言っても2年  
前に植えた「トケイソウ」。原産はブラジルで熱帯  
の植物で、世界中に500種類が生息しています。同  
種の物は一般の家庭の垣根に絡まって咲いている  
花を見かけられます。6月の初旬、施設管理部では  
藤棚の西面にネットを張り、アルフレド神父様のお  
手入れが日課となりました。蔓を美しく流れるよう



にネットに這わせて見事な緑のカーテンが仕上がりました。神父様が動画に収められた花の開花状況を見せて頂きながらこの植物に引惹きつけられた方も多かったと思います。お茶の先生のお宅に活けてある珍しいお花を見に行くという方に誘われて出会った花でした。和名「トケイソウ」の命名の由来は花の内部が時計の針や文字盤に似ているからだとなりました。子供ながらに感動の思いを学級新聞に書いた記憶があります。

西洋では「Passion flower」「キリストの受難の花」、passion は「受難」と訳され、アッシジの



聖フランチェスコが花の構造を十字架上のキリストへの思いと重ねた所からの命名との話が残っています。16世紀、イエズス会の宣教師が中南米に派遣された時、ラテン語で「Flos passionis」と呼ばれていたこの話を布教のために使われました。キリストと深いつながりのあった「トケイソウ」は教会のシンボルフラワーとして毎年咲き続けてくれることを祈っています。

秋の花壇そして裏庭ではシナヒイラギ、ノイバラの実が赤くなりクリスマスの準備が始まり、桜、銀杏の美しい紅葉を楽しんでいただけることでしょうか。暑い中、台風後の後始末、落ち葉の清掃のお手伝いくださり有り難うございました。12月の初旬には春の花壇の植え替えを予定しております。ガーデニングに興味のある方、初心者、お子様連れも歓迎です。少しの時間だけでも体験してみませんか？ お申し出お待ちしております。

施設管理部・園芸係 マリアクララ 貴島



### 六甲教会受付休み

2018年10月8日(月) 体育の日

<p>教会報 11月号の発行は、10月28日(日)です。 原稿は10月14日(日)までに教会受付へご提出ください。FAX 及びメールでも受付いたします。 (広報部) <a href="http://www.rokko-catholic.jp">http://www.rokko-catholic.jp</a></p>	カ ト リ	ッ ク	六 甲 教 会
	〒657-0061	神戸市灘区赤松町	3-1-21
	電 話	0 7 8 - 8 5 1 - 2 8 4 6	
	F A X	0 7 8 - 8 5 1 - 9 0 2 3	
	Mail address	renraku@rokko-catholic.jp	
	発行責任者	アルフレド・セゴビア	
編 集 広 報 部			